

第104回日本精神神経学会総会

シ ン ポ ジ ウ ム

東京武蔵野病院における都市型ツイン救急病棟の現状と課題

馬場 俊明 (財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院)

東京武蔵野病院は東京都精神科救急第2ブロックに所属し、H15年4月に42床(現在43床)の1つめの救急病棟を開設した。H18年からはブロック内の50%以上の措置入院を受け入れ、H19年4月に2つめの救急病棟(44床)を開設した。域外からも多数の措置入院を受け入れている。H19年度の入院数615件のうち、措置180

件、医療保護242件、任意193件で、平均入院日数は47日であった。

本発表では、東京都の精神科救急の状況と当院がツイン救急となって以降の統計を紹介した上で、今後の課題を検討する。

(この論文は抄録集より転載しました)